

親子読書カード 10月3日(火)～16日(月)

「親子読書、とてもよかった！」という感想をいただきました。親子読書にご協力いただき、ありがとうございました。今後も、子どもたちの豊かな心の育成のため読書活動を推進していきます。感想の一部を紹介します。

「コトンの夏休み」 あんびる やすこ

ナナとコトンがお互いのことを大切に思っていました。それにふれてやさしい気持ちになりました。

【母から】

お互いを思いやる気持ちを忘れず、大切にしてほしいです。

「うさぎのモニカのケーキ」 小手鞠 るい

クマさんが熱を出した時、みんながケーキを作って持ってきてくれました。そこが心に残りました。

【お家の方から】

ケーキを通して、いろいろな動物達が仲良くしていました。絵もかわいくて、他にもシリーズがあるので、親子でまた借りて読みたいと思います。

「水をくむプリンセス」 スーザン・ヴァーデ

この本を読んできれいな水と泥の混じった水があることがわかりました。水やごはんを大切にしたいと思いました。

【母から】

水や食事の大切さ、普通の水も飲めない子どもたちがいることなどを一緒に考え、話をしました。

「かみさまからのおくりもの」 ひぐち みちこ

5人の赤ちゃん、みんなにプレゼントをわたす神様が優しいと思いました。

【母から】

5人の赤ちゃんへのプレゼントがそれぞれちがうのは、みんなそれぞれ個性があるということ。子どもには自分の個性を知り、自分を大切にしてほしいと思います。

「おにぼう」 くすのき しげのり

「おにぼう」は鬼の子です。母おにと山の中で静かに暮らしていました。母おにが食料をとりに出かけた時に、鉄砲で撃たれて大怪我をしました。「おにぼう」は夜も眠らずに母おにの手当をしていたのが心に残りました。

【母から】

「おにぼう」の優しさと母おにが亡くなったことに涙しました。母おにが人間に撃たれたのに、人間に優しくできる「おにぼう」はすばらしいと思いました。見た目で判断せず、その人の内面を見ることが改めて大切だと感じました。

「原子力のサバイバル」 文:ゴムドリ

ぼくのおすすめは、ノウ博士がジオとベン博士をのせたミサイルを受け取ったところ
です。

【母から】

原子力の危険性、そしてもし事故があった場合の対処法などわかりやすく理解できました。

「しゅくだい大なわとび」 福田 岩情

最初は大縄跳びが跳べなかったけど、あきらめずにお父さんや友達のお姉さんといっしょに練習していたところが心に残りました。

【母から】

苦手なことも、あきらめず、お友だちと一緒に頑張ることはすてきなことです。本気で頑張った後のうれしさや達成感を小学校生活の中で味わってほしいです。

「あなたをずっとずっとあいしている」 宮西 達也

恐竜のお話です。マイアサウラのおかあさんが、自分の子とティラノサウルスの子どもを大切に守っていた。ティラノサウルスが自分の正体を知って、最後に家を出て行ったのが切なかったです。

【母から】

母が子を想う愛情が深く感じる本でした。確かに最後は切なかったけど、母が子を想う気持ち、子が母を想う気持ちは、離れていても、いつまでも変わることはありません。永遠の愛です。

「メッシ」 マイケルパート

おばあちゃんが亡くなった時、メッシが悲しんでいたのがすごく印象にのこりました

【母から】

いつもどんな時でも一番そばで応援をしてくれたおばあちゃんとのお別れは突然すぎてびっくりしました。空のおばあちゃんに親指をたてて、お別れをしたところが心に残っています。

「ひまわりのおか」 はかた たん

津波にのみこまれた子どもたちがかわいそうでした。今でも会えない家族のつらい気持ちができるように感じました

【父から】

東日本大震災が題材のこの本を読んだことで、子どもの心に何か感じるものがあればよかったと思います。

「ないたあかおに」 浜田 廣介

青おにのおかげで、赤おにと人間がなかよくしているところが心に残りました。

【母から】

友だちの赤おにのために、自分が悪者になることは大人でもなかなかできることではないので印象的でした。友達を大切にすることはすばらしいことだと思います。

「いろどり屋」 廣嶋 玲子

「てん」が作った色で、みんなが幸せになっていくところがおもしろいです。

【母から】

すてきな本に出会えましたね！また、もっとたくさん本を本で、自分の知識にしていこう！

「コブタくんもうなかないで」 かとう ようこ

木がコブタくんにはっぱをかけて守ってくれたところが心に残りました

【母から】

気持ちの弱さを強さに変えるところ、植物と動物が友だちになり、話をしているところが印象的でした

「かわいいこねこをもらってください」 なりゆき わかこ

小学生のちいちゃんは、ある日、道でこねこを見つけます。飼い主をさがすなかで、ちいちゃんの気持ちに変化が見られるところが心に残りました

【母から】

ちいちゃんは子ねこのために、自分のおこづかいを減らすことも提案できる心の優しい女の子だと思いました。幸せな結末に泣けました

「エカシの森と子馬のポンコ」 加藤 多一

北海道の牧場で生まれた子馬のポンコ。ポンコは牧場から逃げ出します。ひとりで生きて、自由だというところがおすすめで。

【母から】

子どもと一緒に感想を言い合えたり、楽しい本を教えあったり、よいコミュニケーションの時間が持てました。

「マルゲリータのまるちゃん」 井上林子

マルゲリータのマルちゃんがピザといっしょにとんでいきます。途中でネズミの親子にあって、自分もおなかがすいていたのに、ネズミの親子にピザをあげたところがやさしくて、心に残りました。

【父から】

この本を通してマルゲリータのマルちゃんのやさしさに気がつくことができたようです。やさしさをわすれず、思いやりを持って生活しましょう。

心に残った場面を描いた絵もすてきでした。

